



各 位

2025年2月10日

会社名 古河機械金属株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中戸川 稔  
(コード：5715 東証プライム)  
問合せ先 執行役員経理部長 田近 強  
(TEL 03-6636-9502)

### 2025年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年11月11日に公表した2025年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、配当予想の修正については、本日発表の「2025年3月期 配当予想修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 記

#### 1. 2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2024年11月11日 発表)	百万円 187,700	百万円 8,200	百万円 7,400	百万円 16,000	円 銭 441.31
今回修正予想(B)	198,900	8,700	7,900	18,000	496.47
増減額(B-A)	11,200	500	500	2,000	
増減率(%)	6.0%	6.1%	6.8%	12.5%	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	188,255	8,524	10,384	16,097	429.28

#### 2. 連結業績予想の修正の理由

前回（2024年11月11日）発表の業績予想との比較において、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正しています。

売上高、営業利益および経常利益については、全体で増収増益となる見込みです。ロックドリル部門では、北米向けの油圧クローラドリルの出荷が予想を上回り、増収増益となる見込みです。ユニック部門では、国内向けは増収、海外向けは減収となり、原価率の悪化により、部門全体で減益となる見込みです。金属部門では、電気銅および電気金の販売数量は減少するものの、円安により増収増益となる見込みです。電子部門では、半導体サイクルの回復の遅れにより、減収減益となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、本日発表の「投資有価証券売却に関するお知らせ」のとおり、保有する投資有価証券の一部を売却し、2025年3月期第4四半期連結会計期間において、投資有価証券売却益約4,000百万円を特別利益に計上する見込みで、併せて税金費用を調整した結果、増益となる見込みです。

#### 3. 2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）の個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2024年11月11日 発表)	百万円 7,700	百万円 2,700	百万円 2,300	百万円 13,000	円 銭 358.56
今回修正予想(B)	7,700	2,700	2,300	15,000	413.73
増減額(B-A)	—	—	—	2,000	
増減率(%)	—	—	—	15.4%	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	7,429	2,568	3,150	12,643	337.17

#### 4. 個別業績予想の修正の理由

本日発表の「投資有価証券売却に関するお知らせ」のとおり、保有する投資有価証券の一部を売却し、2025年3月期第4四半期会計期間において、投資有価証券売却益約4,000百万円を特別利益に計上する見込みで、併せて税金費用を調整した結果、前回（2024年11月11日）発表の業績予想との比較において、当期純利益を上方修正しています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上